

平成29年度

平成30年2月26日

後期 学校評価アンケート結果について

京都市立乾隆小学校
校長 勝木 清隆

先日実施いたしましたアンケート集計結果をお知らせいたします。

回収率は、前期より少し下がりましたが、81%でした。今回も高い回収率なりました。ご協力ありがとうございました。

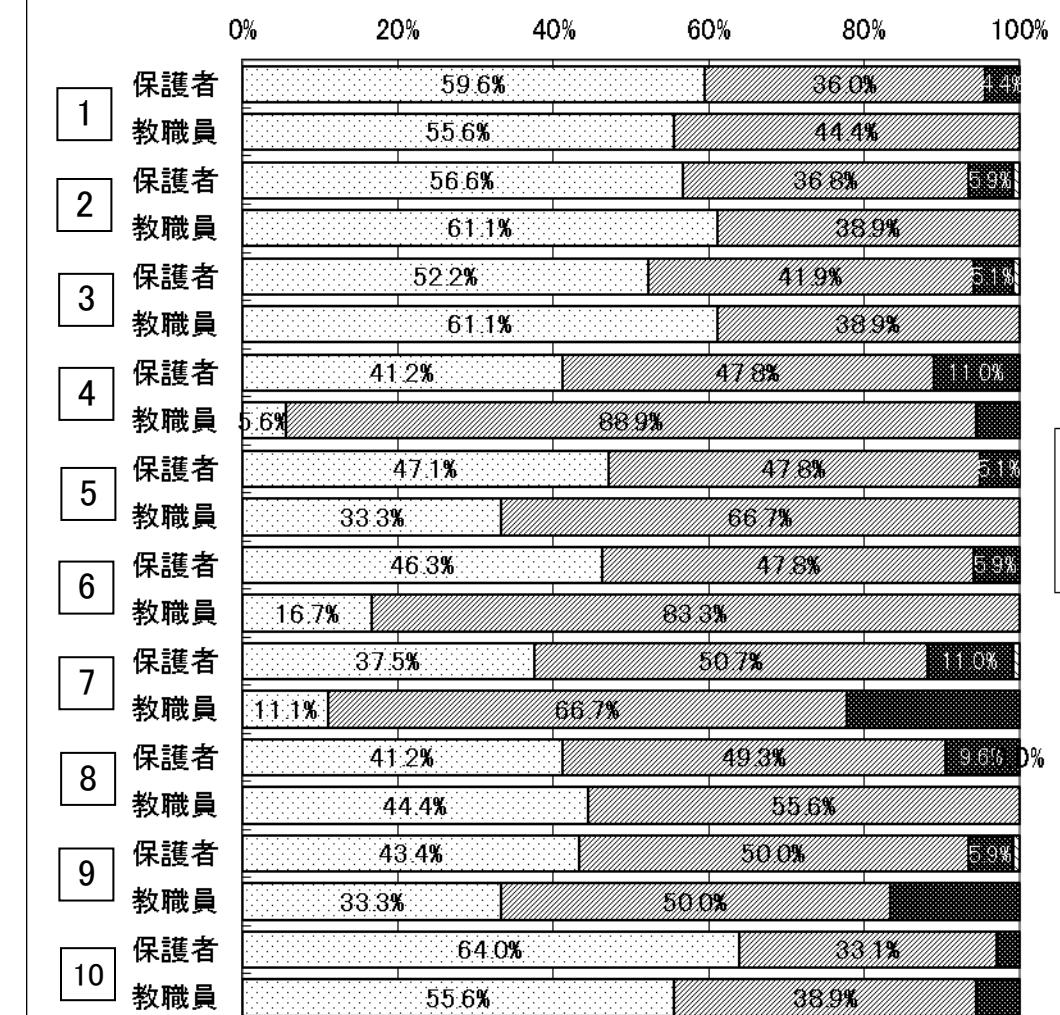
前回にくらべ若干下がっている項目もありますが、全体的に見ると、概ね良い評価結果でした。(右帯グラフ参照) アンケート結果を踏まえ、子どもたちにしっかりと学力をつけていく取組を今後も進めていきたいと考えています。問3については、前回同様に高い評価をいただきました。一人ひとりを大切にした学級経営を意識すると同時に、子ども達自身が人や物を大切にする指導をしていきたいと考えています。また、問5については、教職員一人ひとりが「楽しく学び合う」「わかる授業」を目指して国語科の研究を中心に進めながら取組を進めていきました。今後も、学習の定着を確実なものとするよう努力を続けていきたいと考えています。

学校といたしましてはこれらの結果を踏まえ、今後も授業改善や保護者の方の思い・願いをしっかり受け止めいかなければならないと考えています。

この評価結果については、学校運営協議会の理事会でも報告させていただきました。理事の皆さんからは、いろいろなご意見を頂きました。

- ・ 小学校の児童は、中学生に教える際の概念的な指導が難しいので、小学校教員は、より具体的な指導の工夫をしてもらいたい。
- ・ 宿題について学年が上がるにつれて、「あてはまらない（できていない）」と回答する児童も多くみられる。最後までやりきる力や宿題以外の自主学習の充実など保護者との連携を取ることも大切にしてほしい。
- ・ 教職員、地域、保護者がそれぞれの立場で子どもを大切にしているが、今一度、「子どもが大切にされる」ということについて掘り下げて考える必要がある。

また、保護者の皆様からは、記述式でのご意見・ご要望等も頂きました。頂いたご意見等を検討し、これからの方針に反映していきたいと考えております。



アンケート項目

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
- 問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
- 問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
- 問4 宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
- 問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
- 問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
- 問7 早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
- 問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
- 問9 子どもに力をつけていってほしいという保護者の思いや願いに応えようする姿勢が見られる。
- 問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。

A : よくあてはまる B : ややあてはまる C : あまりあてはまらない D : あてはまらない